



2020.12 No5

はたけ便り

NPO 法人みんなのプロジェクト
福岡市早良区梅林6-23-3
Mail: hatakenoie2020@gmail.com

「`壁、`でなく `仕切り、」

水野 英尚

新型コロナウイルス感染症の`第三波、が世界中を襲っています。国内でも、「クラスター発生」のニュースが連日報道されています。`Go To、に翻弄されるのではなく、自らの判断により適正な行動をとる`自律、した歩みが求められているのではないのでしょうか。もはや、資本主義社会による「元に戻す」という観点に別れを告げ、「共存して生きる」という共存社会のスタートだと、この`コロナ禍、を受けと止める必要を感じています。

さて、「SharedHome はたけのいえ」は改築工事の真っ只中です。内装はほとんどの壁が壊されてスケルトン状態となっています。設計士さんも「壁が無い・・・」とつぶやくほど、平屋という利点を生かして、壁という壁を取り除いてもらっています（もちろん、構造上弱くなってしまうので梁と柱で補強しています！）。来年4月からの四人暮らしに向け各部屋を作るための工事ですが、「壁のない個室？」として、各部屋が`壁、`ではなく `仕切り、`によって繋がれる予定です。それでは、「それぞれの`プライバシー、`が確保できないでは？」となりますが、`壁、`で四方を仕切られた空間で守られる`プライバシー、`を確保するのではなく、最低限(排泄、着替え時等)のプライバシーを守りつつ、互いの生活における気配や音や光を感じ、必要ならば開放して互いを助け合える空間。それが`ホーム、(繋がり)をシェアする「SharedHome はたけのいえ」のコンセプトです。考えてみますと、昔の日本家屋は`壁、`が少なく、障子や襖で仕切られた空間が多かったものです。そうした住まいが、日本の風土や気候に即したものであったことでしょう。しかし、時が過ぎ核家族化が進み、人々の住まい方や`家、`の姿も変容し`家、`は外部を遮断するものとなり、内側はそれぞれの`個、`を大切にして`壁、`で囲い、それぞれの個室を設けるようになったのです。



そういう私も「自分の部屋」へのあこがれを子ども心に抱いておりました。私たちは便利さと快適さ追求しながら、誰にも気兼ねすることのない`安心、して過ごせる場所を獲得しました。しかし、その一方で失ってしまったものもあるのではないのでしょうか。他者と空間を共有しながら程よい距離感で過ごすという経験の少なさは、他者との同じ空間が居心地の悪さとなり、自然体でいることを困難とさせてしまいます。現代は、そのような意味において共生社会の実現は、遠い道程なのかもしれません。他者とは、自分とは違うという意味で`異質、な存在です。そこには、気遣いや気苦労や面倒なことも、一緒に居れば当然起こることでしょう。しかし、それでも`共生、を選ぶということは、私たちは互いに助け合わなければ生きられない`人間としての本質、を知らされているからに他なりません。ここで、暮らそうとしている重症心身障がいと呼ばれる彼(女)たちは、そうした`本質、を全身全霊で示している存在であり、私たちに`共生の道、を指し示しているパイオニアたちです。



「SharedHome はたけのいえ」 介助者募集！！

～あなたの`お時間、少しいただけないでしょうか？～

資格・内容等について知りたい方は、以下の連絡先迄お気軽にどうぞ！

連絡先:090-7921-7584(水野)

サポーター会員の登録ありがとうございました。

黒柳敏夫様、水野艶子様、綾部可奈枝様、豆田飛鳥様、大木雄一郎様、水野泰三様、水野泰江様、水野宗寛様（順不同）

